



第6回 CSJ 化学フェスタ 1

多くを知って見聞を広めよう！ 第6回 CSJ 化学フェスタ

日本化学会 化学フェスタ実行委員会委員長

廣瀬弘明 Hiroaki HIROSE 加藤隆史 Takashi KATO

11月14日～16日第6回「CSJ化学フェスタ」を、タワーホール船堀（東京都江戸川区）にて開催します。「産学官の交流深耕」と「化学の社会への発信」を主軸に多方面からの研究者・ビジネス関係者を招き、様々な話を伺う機会を企画いたしました。内容は、基礎化学から最先端科学技術、研究運営に留まらず、研究に必要な基礎知識・スキルまで幅広くカバーし、一味異なる内容となっています。今回もとても魅力的な企画が目白押しで、来て良かった、行って良かったと思うこと間違いのないと思います。是非ご参加下さい。

はじめに

春の年會が、皆さんの研究分野・技術をさらに極めることを目的としていることは周知のとおりと思います。それに対して、この秋の全国行事である化学フェスタは、時代にマッチした様々な化学に関する広い範囲のテーマを取り上げており、テーマの最前線研究者をお招きして研究が何処まで行っているのか、残された課題は何なのか、その課題が解決されればどんなビジネスが起ってくるのか？ などについてトータルに考えることのできる「交流の場」です。

化学技術研究をこれから開始しようとする学生、すでに研究を始めている学生・最前線の研究者に留まらず、企業における研究管理者や将来事業を企画する研究企画の方々すべてを歓迎します。このフェスタに来

ひろせ・ひろあき

JNC株式会社 研究開発本部 主席企画員
〔経歴〕1981年東北大学理学部化学科卒業。同年チッソ(株)に入社、技術開発部門、米国事業会社社長、研究所長を経て、2011年JNC(株)(JNCはチッソの事業承継会社)に転籍、15年より現職。
〔専門〕有機物理化学。〔趣味〕サボテン栽培。
〔連絡先〕100-0004 千代田区大手町 2-2-1 新大手町ビル 9F (勤務先)
E-mail: hhirose@jnc-corp.co.jp



かとう・たかし

東京大学大学院工学系研究科化学生命工学専攻教授
〔経歴〕1988年東京大学大学院工学系研究科博士課程修了。同年コーネル大学博士研究員、89年東京大学助手、助教授を経て、2000年より現職。科学技術振興機構さきがけ「分子技術と新機能創出」研究総括兼任。〔専門〕機能分子化学、高分子材料化学、分子集合体の化学、液晶化学。
〔連絡先〕113-8656 文京区本郷 7-3-1 (勤務先)
E-mail: kato@chiral.t.u-tokyo.ac.jp



て、潜んでいるかもしれないこれからの研究テーマや共同研究の種を是非掘り起こして欲しいと願います。

そのような「交流の場」を今年も設けることにいたしました。「学生ポスター発表」、「産学官 R & D 紹介企画」、「コラボレーション企画」(一般公開)、「テーマ企画」、「2016 ノーベル賞解説講演会」(一般公開)、「公開講座」(一般公開)、など魅力的な企画があなたをお待ちしています。

学生ポスター発表

当フェスタの学生によるポスター発表は正にマンツーマンの「技術議論の場」です。どんな研究テーマが開始されどのように解決して行こうとしているのかを発表し議論するだけでなく、産学官の研究者・技術者がそのアイデアに対して勘所を押えた質問を投げ掛ける場合もあり、こんな見方があったのかといった新しい観点に気付くこともあるでしょう。研究成果の利用を考えた場合、企業側から見た課題や想像もしていな



いろいろな質問や議論があなたを待っています

かった利用法などにつき意見を伺えるかもしれません。毎年皆さんから好評を得ている企画の1つです。

今年のポスター参加者は北海道から沖縄に至るまで過去最高の1200名を数え、全国規模になっており、また、大学だけでなく、高専や各種学校からの発表も多くなり、大人気となっています。優れたポスター発表には「優秀ポスター発表賞」が、さらにその中でも最も優れた発表には「最優秀ポスター発表賞」が授与され、副賞とともに、本誌に受賞コメントの掲載が確約されています。なお、本化学フェスタの運営に当たっては、本企画のみならずフェスタ全体にわたって、学生の就職に関する経団連憲章を固く順守する方針です。

産学官 R & D 紹介企画

企業、大学、国公立研究機関などの産学官の機関にも、自慢の技術や特徴ある製品の開発事例、PRしたい研究成果、トピックスなど、紹介したいものが沢山あります。この企画は、学生ポスターと全く逆の立場で、技術活用の結果を相互に知る機会でもあり、自分の研究がこのような分野に生かされるかもしれないといったことに気付くかもしれません。こうした産学官の連携の姿と皆さんとの交流深耕のきっかけとなる場を提供するのが「産学官 R & D 紹介企画」です。ブースによる紹介と、特定会場でのオーラル発表という2本立てであり、様々な交流形態を提供しています。今回は15件のオーラル発表（ランチョンもあります）と77コマの展示ブースの実施を予定しています。



産学官への熱い質問が飛び交います

コラボレーション企画

「コラボレーション企画」というのは、大学や国公立研究機関、協会、団体、一般企業、その他特定の研究グループなどが、その企画内容を自由に設定し、主体的に開催できる企画です。今年は、科学技術振興機構（JST）、産業技術総合研究所、日本化学工業会、量子科学技術研究開発機構（QST）、三井化学、文部科学省科

学研究費補助金新学術領域研究の元素ブロックおよび有機分子触媒がそれぞれ独自の企画でフレッシュな話題を提供します。

テーマ企画/公開企画

この企画も本フェスタの特徴です。産学官実行委員80名による丁丁発止の議論の結果、今年も選りすぐりテーマが目白押しです。最先端テーマ、興味深いテーマにつき概要紹介、最先端動向ならびにこれからの課題を産学官で自由議論する目的で、多くの「テーマ企画」を準備しています。エネルギー・環境・資源、新素材、バイオ・食品・健康などの分野に関する企画、チュートリアル的な企画に加え、支部や部会、ディビジョン、新領域研究グループからの企画があります。

また、「化学の社会への発信」を目的に、参加登録料無料で、一般市民の皆様にも参加いただける「公開企画」を準備しております。「ノーベル賞解説講演」は、今年度のノーベル賞について、その分野の専門家からわかりやすくその意義を解説するもので、毎年大好評をいただいております。また、今年は、皆さん気になる温泉の成分や効能などを化学の視点から捉える「化学と温泉」、2016 リオデジャネイロオリンピックで盛り上がりを見せたスポーツに使用される各種素材を中心に、化学の目で捉えた「化学とスポーツ」も企画しております。これらの「公開企画」、「テーマ企画」に関する詳しい情報は次ページ以降をご覧ください。

毎年、2日目夕方に開催している「交流会」は産学官および学生の出会い、「来場者皆さんの交流の場」として今年も開催いたします。化学に関する楽しいクイズ大会もあり、豪華な景品もたくさん用意いたしました。学生だけでなく、最前線の研究者、産官学技術者も一堂に参加する他に例を見ない交流の場であると自負しますので、この交流会へも是非お出かけ下さい。



500名を超える参加者で賑わう交流会

© 2016 The Chemical Society of Japan